

# 農業生産基盤の整備状況について

農村振興局

平成 2 8 年 3 月 2 5 日

農林水産省

# 目 次

## 1. 田の整備状況

全国の実備状況	.....	P.1
整備状況の推移	.....	P.1
【参考】都道府県別の整備状況(区画の整備状況)	.....	P.2
【参考】水田の排水良好面積	.....	P.3

## 2. 畑の整備状況

全国の実備状況	.....	P.4
整備状況の推移	.....	P.4
【参考】都道府県別の整備状況(末端農道の整備状況)	.....	P.5
【参考】都道府県別の整備状況(畑地かんがい施設の整備状況)	..	P.5
【参考】都道府県別の田畑整備状況(平成26年)	.....	P.6

## 3. 基幹的農業水利施設の整備状況

農業水利ストックの整備状況	.....	P.7
基幹的農業水利施設の資産価値	.....	P.7
標準耐用年数超過状況	.....	P.7
【参考】都道府県別の基幹的農業水利施設数・水路延長(平成26年)	..	P.8

# 1. 田の整備状況

- 30a程度以上の区画に整備された面積は157万haで、田全体の64%と着実に向上。そのうち23万ha（9%）が1ha程度以上の区画に整備されている状況。
- 区画整備され排水が良好な水田面積は108万haで、区画整備された残りの49万haでは排水が良好でない状況。

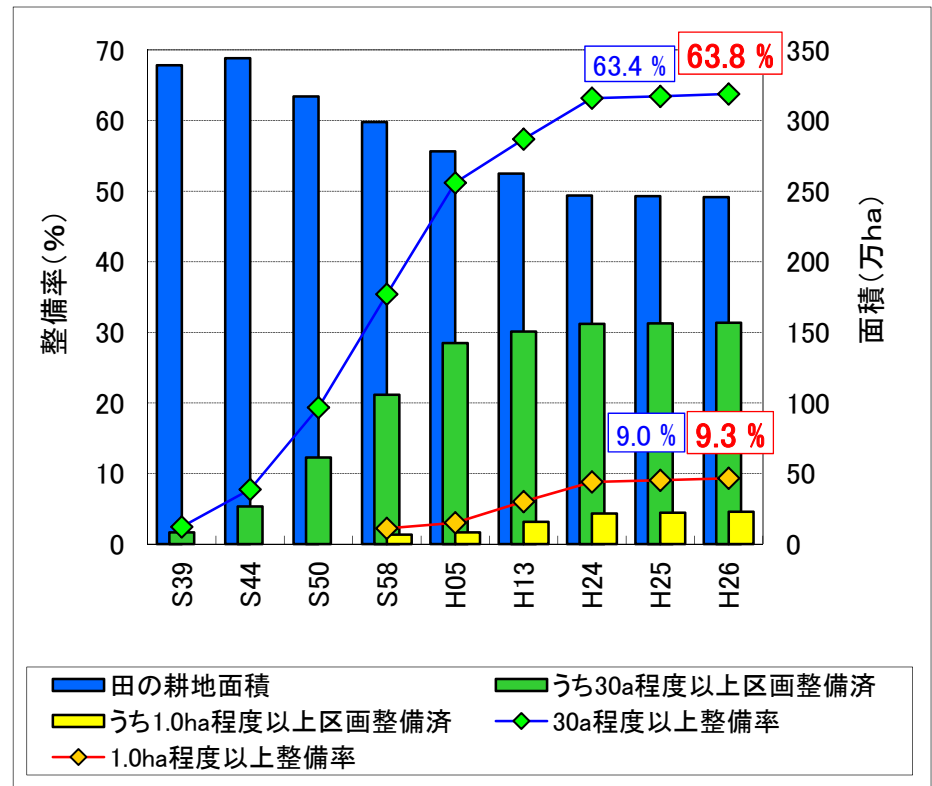
## ➤ 全国の整備状況

		面積		整備率	
		(万ヘクタール)	参考 (H25.3)	(%)	参考 (H25.3)
田	耕地面積	245.8	246.5	—	—
	30アール程度以上の区画	156.8	156.4	63.8	63.4
	うち排水良好	108.1	107.1	44.0	43.4
	うち1ヘクタール程度以上の区画	22.9	22.3	9.3	9.0

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（平成26年7月15日時点）、  
農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」（平成26年3月31日時点）

注）排水良好とは、概ね4時間雨量4時間排除の地表排水条件を有し、  
かつ地下排水条件の良好（地下水位70cm以深）な田。

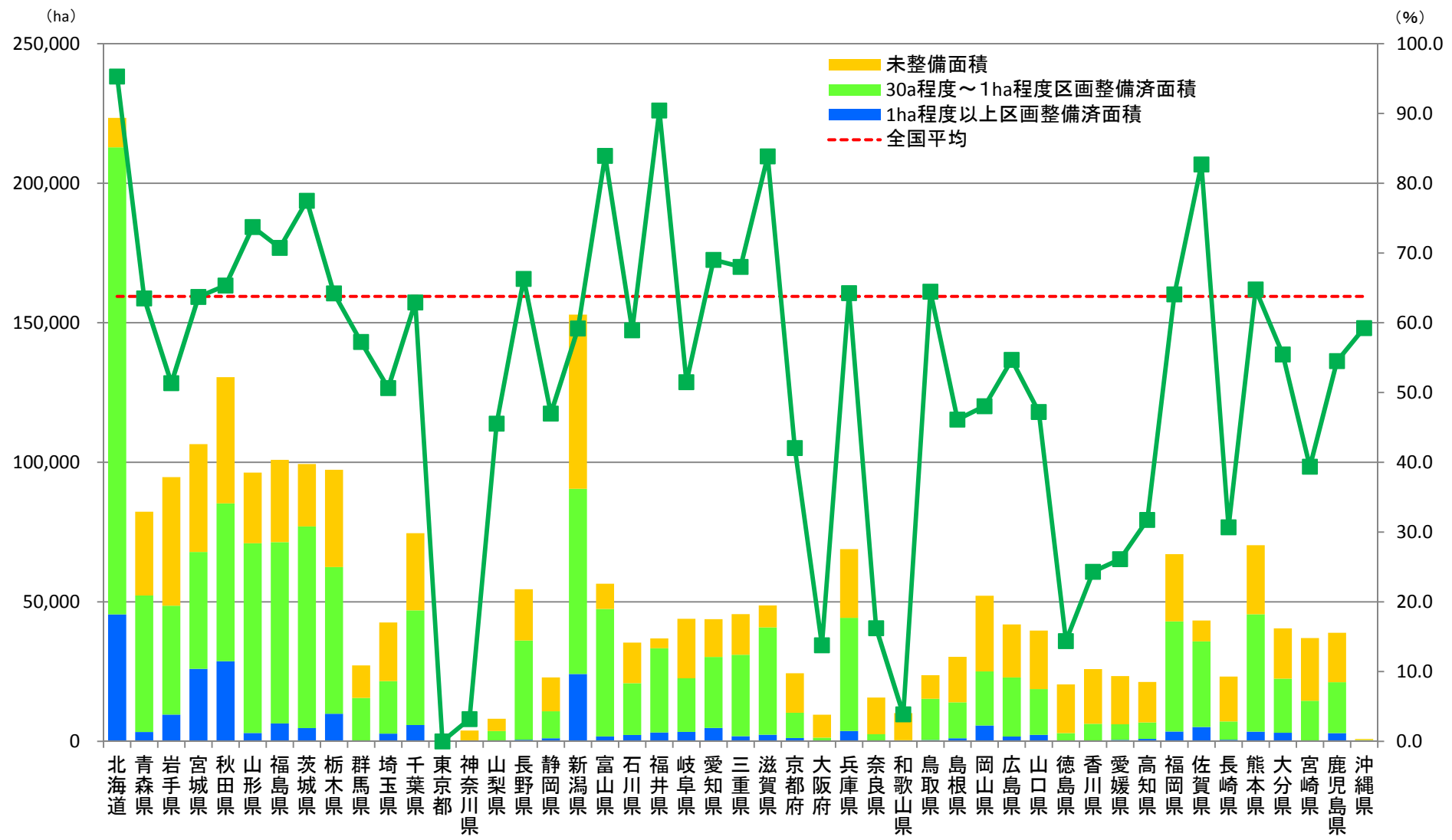
## ➤ 整備状況の推移



資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」（平成26年7月15日時点）、  
農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」（平成26年3月31日時点）

【参考】

➤ 都道府県別の整備状況(区画の整備状況)



資料:農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」(平成26年7月15日時点)、農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」(平成26年3月31日時点)

## 【参考】

### ➤ 水田の排水良好面積

#### ○水田整備の状況(全国)

・区画整備済水田の約3割は排水が良好でない。

水田面積 246万ha

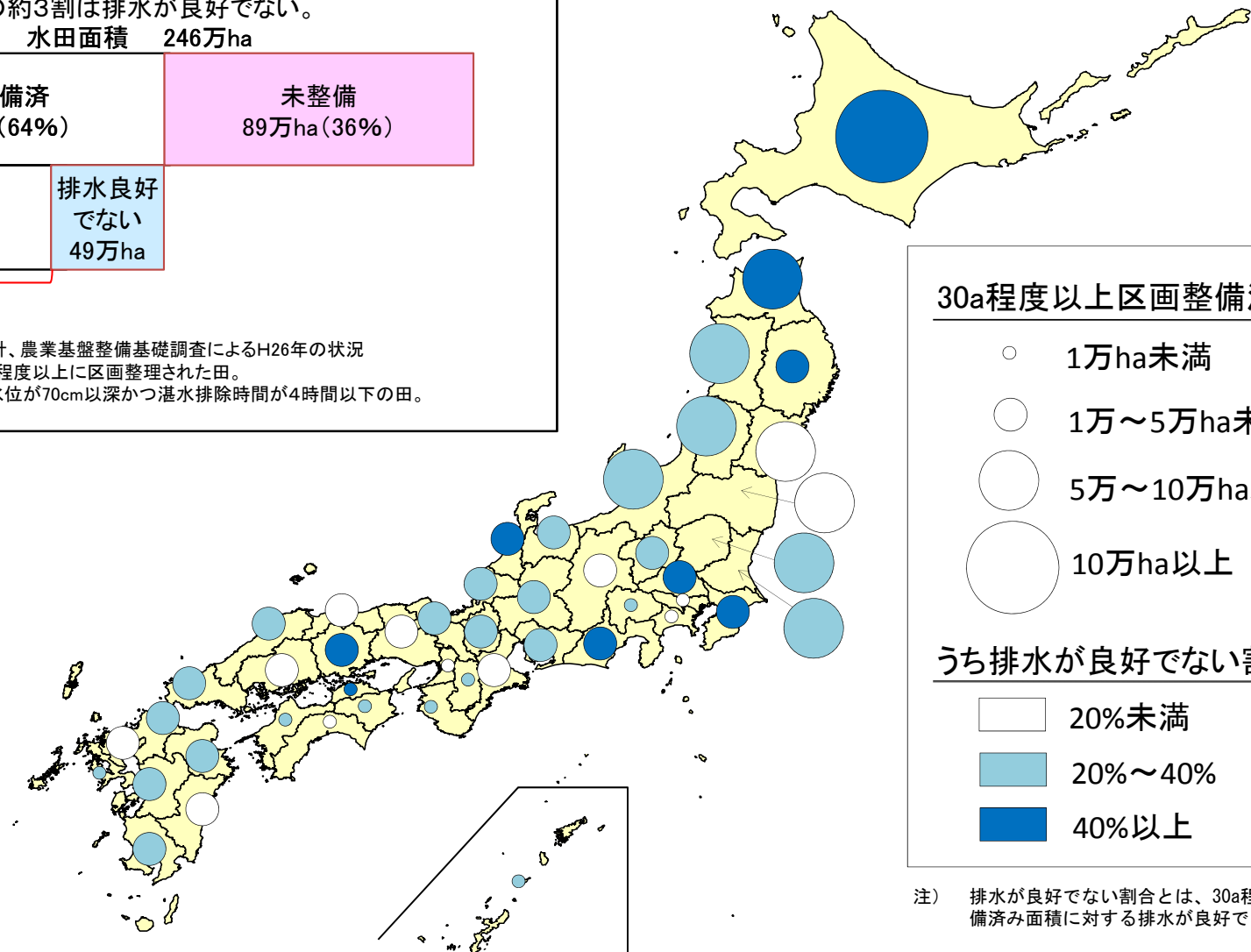
区画整備済 157万ha(64%)	未整備 89万ha(36%)
排水良好 108万ha	排水良好でない 49万ha

汎用田

資料：耕地及び作付面積統計、農業基盤整備基礎調査によるH26年の状況

注1) 区画整備済とは、30a程度以上に区画整理された田。

注2) 排水良好とは、地下水位が70cm以深かつ湛水排除時間が4時間以下の田。



注) 排水が良好でない割合とは、30a程度以上区画整備済み面積に対する排水が良好でない面積の割合

## 2. 畑の整備状況

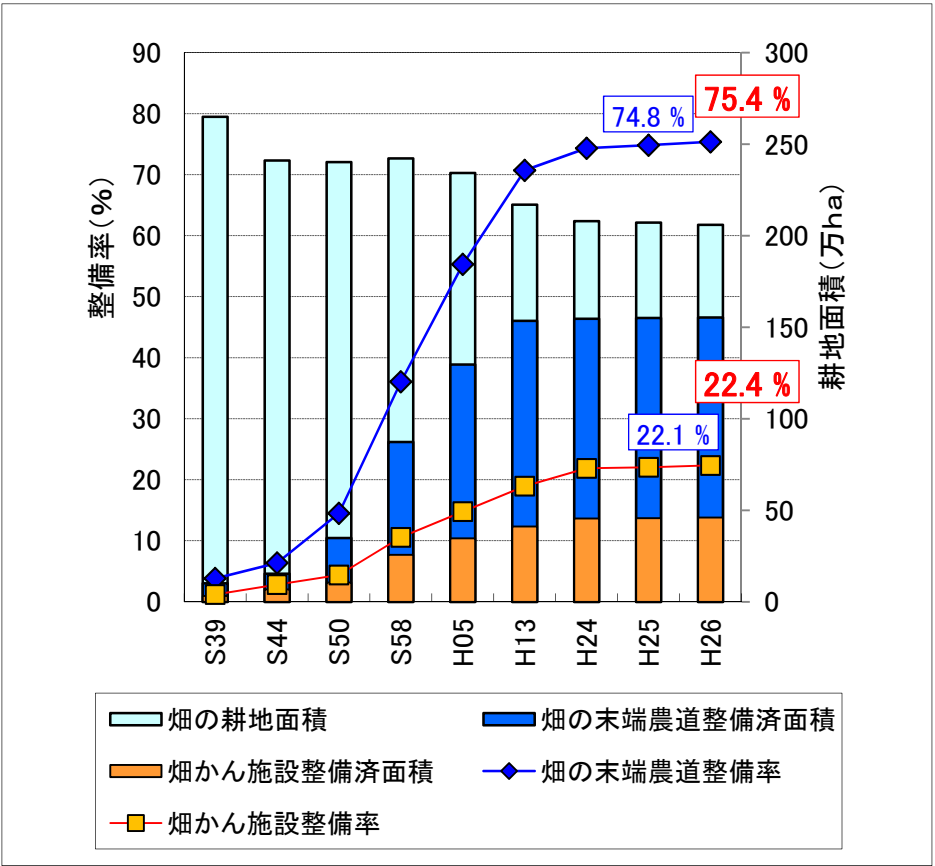
○ 畑の末端農道が整備された面積は155万haで、畑全体の75%と着実に向上。一方、畑地かんがい施設が整備された面積は46万haで、畑全体の22%が整備されている状況。

### ➤ 全国の整備状況

		面積		整備率	
		(万ヘクタール)	参考 (H25.3)	(%)	参考 (H25.3)
畑	耕地面積	206.0	207.2	—	—
	末端農道整備済	155.3	155.1	75.4	74.8
	畑かん施設整備済	46.1	45.7	22.4	22.1

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」(平成26年7月15日時点)、  
農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」(平成26年3月31日時点)  
注) 末端農道整備済とは、幅員3m以上の農道に接している畑。

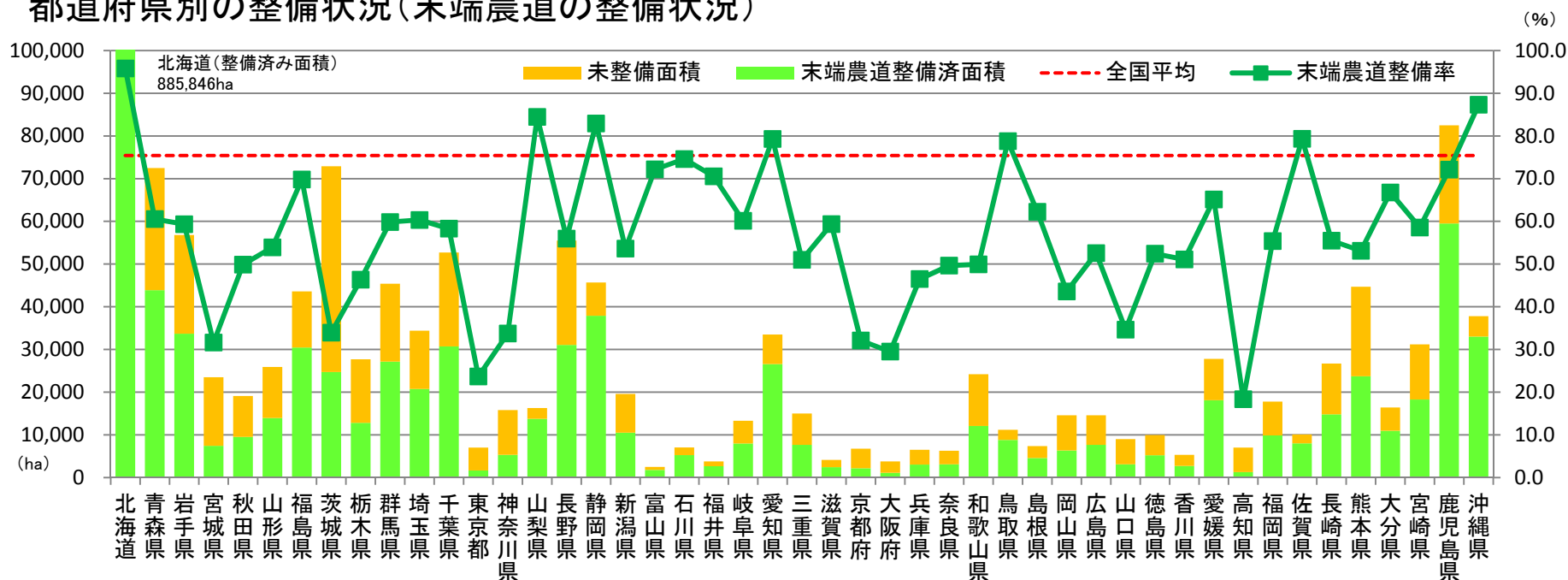
### ➤ 整備状況の推移



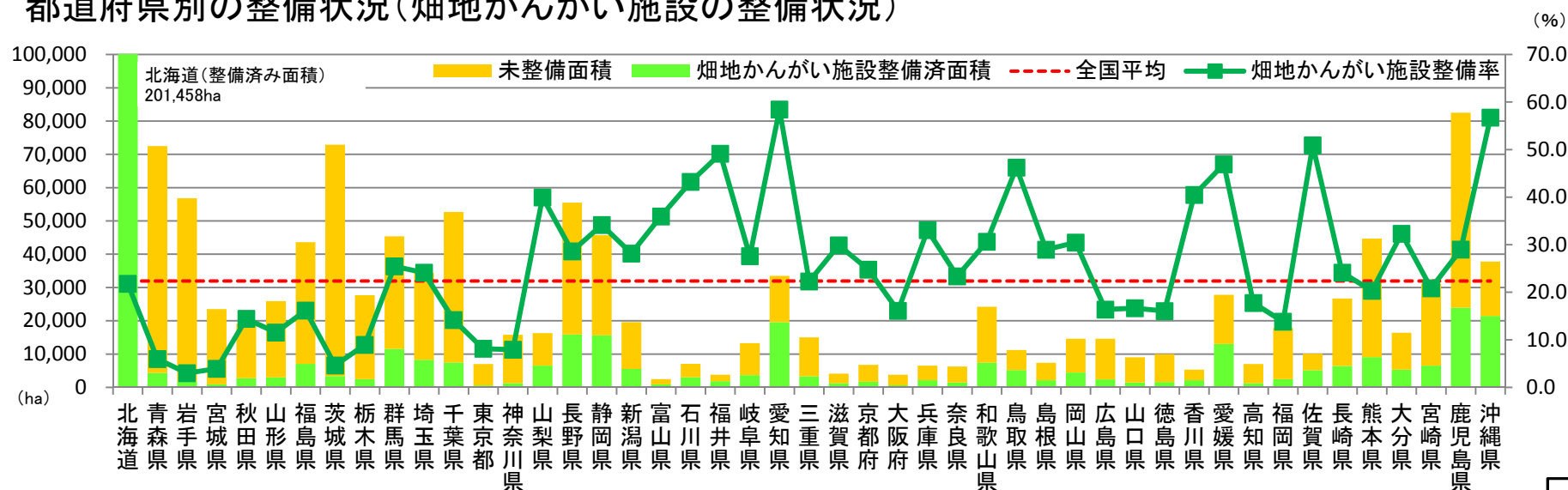
資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」(平成26年7月15日時点)、  
農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」(平成26年3月31日時点)

## 【参考】

### ➤ 都道府県別の整備状況(末端農道の整備状況)



### ➤ 都道府県別の整備状況(畑地かんがい施設の整備状況)



資料:農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」(平成26年7月15日時点)、農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」(平成26年3月31日時点)

【参考】都道府県別の田畑整備状況(平成26年)

6

推計値

	田面積					畑面積				
	① [ha]	30a程度以上区画整備済面積				⑥ [ha]	末端農道整備済面積			畑地かんがい施設 整備済面積
		② [ha]	割合 ③=②/① [%]	④ [ha]	割合 ⑤=④/① [%]		⑦ [ha]	割合 ⑧=⑦/⑥ [%]	⑨ [ha]	割合 ⑩=⑨/⑥ [%]
北海道開発局	223,400	212,889	95.3	45,496	20.4	924,700	885,846	95.8	201,458	21.8
北海道	223,400	212,889	95.3	45,496	20.4	924,700	885,846	95.8	201,458	21.8
東北農政局	611,200	396,405	64.9	77,028	12.6	241,300	138,953	57.6	19,731	8.2
青森県	82,300	52,253	63.5	3,359	4.1	72,500	43,889	60.5	4,319	6.0
岩手県	94,700	48,627	51.3	9,594	10.1	56,800	33,705	59.3	1,700	3.0
宮城県	106,500	67,856	63.7	26,002	24.4	23,500	7,429	31.6	920	3.9
秋田県	130,500	85,283	65.4	28,695	22.0	19,100	9,527	49.9	2,753	14.4
山形県	96,300	71,002	73.7	2,974	3.1	25,900	13,962	53.9	2,990	11.5
福島県	100,900	71,384	70.7	6,404	6.3	43,600	30,441	69.8	7,049	16.2
関東農政局	430,800	274,302	63.7	25,436	5.9	373,400	205,907	55.1	72,986	19.5
茨城県	99,400	77,019	77.5	4,765	4.8	72,900	24,727	33.9	3,361	4.6
栃木県	97,300	62,480	64.2	9,879	10.2	27,700	12,835	46.3	2,479	8.9
群馬県	27,200	15,572	57.3	368	1.4	45,400	27,168	59.8	11,551	25.4
埼玉県	42,600	21,576	50.6	2,761	6.5	34,400	20,752	60.3	8,295	24.1
千葉県	74,600	46,940	62.9	5,843	7.8	52,700	30,718	58.3	7,469	14.2
東京都	284	0	0.0	0	0.0	7,010	1,660	23.7	570	8.1
神奈川県	3,890	124	3.2	15	0.4	15,800	5,334	33.8	1,252	7.9
山梨県	8,110	3,694	45.6	121	1.5	16,300	13,769	84.5	6,513	40.0
長野県	54,500	36,134	66.3	591	1.1	55,500	31,058	56.0	15,883	28.6
静岡県	22,900	10,762	47.0	1,093	4.8	45,700	37,888	82.9	15,613	34.2
北陸農政局	281,600	192,153	68.2	31,331	11.1	32,900	20,223	61.5	11,311	34.4
新潟県	152,900	90,501	59.2	24,145	15.8	19,600	10,508	53.6	5,516	28.1
富山県	56,500	47,420	83.9	1,745	3.1	2,490	1,797	72.2	895	35.9
石川県	35,400	20,862	58.9	2,278	6.4	7,040	5,251	74.6	3,042	43.2
福井県	36,900	33,370	90.4	3,163	8.6	3,780	2,667	70.6	1,857	49.1
東海農政局	133,300	83,857	62.9	10,047	7.5	61,800	42,212	68.3	26,594	43.0
岐阜県	43,900	22,608	51.5	3,381	7.7	13,300	7,995	60.1	3,670	27.6
愛知県	43,800	30,232	69.0	4,818	11.0	33,500	26,568	79.3	19,582	58.5
三重県	45,600	31,017	68.0	1,848	4.1	15,000	7,649	51.0	3,343	22.3
近畿農政局	177,400	99,620	56.2	7,683	4.3	51,600	23,972	46.5	14,558	28.2
滋賀県	48,700	40,836	83.9	2,359	4.8	4,130	2,451	59.3	1,234	29.9
京都府	24,400	10,258	42.0	1,205	4.9	6,780	2,176	32.1	1,679	24.8
大阪府	9,560	1,317	13.8	241	2.5	3,790	1,118	29.5	611	16.1
兵庫県	68,900	44,269	64.3	3,684	5.3	6,520	3,031	46.5	2,157	33.1
奈良県	15,700	2,548	16.2	161	1.0	6,270	3,112	49.6	1,465	23.4
和歌山県	10,100	392	3.9	33	0.3	24,200	12,083	49.9	7,412	30.6
中国四国農政局	278,700	118,102	42.4	13,216	4.7	107,000	57,926	54.1	33,696	31.5
鳥取県	23,700	15,280	64.5	484	2.0	11,200	8,822	78.8	5,177	46.2
島根県	30,300	13,979	46.1	1,107	3.7	7,380	4,593	62.2	2,137	29.0
岡山県	52,200	25,081	48.0	5,683	10.9	14,600	6,364	43.6	4,447	30.5
広島県	41,900	22,915	54.7	1,712	4.1	14,600	7,674	52.6	2,389	16.4
山口県	39,700	18,745	47.2	2,340	5.9	9,020	3,125	34.7	1,501	16.6
徳島県	20,400	2,934	14.4	173	0.8	9,970	5,226	52.4	1,599	16.0
香川県	25,900	6,298	24.3	292	1.1	5,330	2,723	51.1	2,157	40.5
愛媛県	23,400	6,111	26.1	537	2.3	27,800	18,109	65.1	13,043	46.9
高知県	21,300	6,760	31.7	888	4.2	7,020	1,289	18.4	1,246	17.7
九州農政局	320,300	189,696	59.2	19,123	6.0	229,400	145,142	63.3	58,830	25.6
福岡県	67,100	42,996	64.1	3,529	5.3	17,800	9,860	55.4	2,458	13.8
佐賀県	43,300	35,807	82.7	5,162	11.9	10,100	8,011	79.3	5,141	50.9
長崎県	23,200	7,121	30.7	575	2.5	26,700	14,816	55.5	6,442	24.1
熊本県	70,300	45,538	64.8	3,461	4.9	44,700	23,737	53.1	9,080	20.3
大分県	40,500	22,463	55.5	3,096	7.6	16,400	10,951	66.8	5,299	32.3
宮崎県	37,000	14,568	39.4	367	1.0	31,200	18,272	58.6	6,504	20.8
鹿児島県	38,900	21,203	54.5	2,933	7.5	82,500	59,496	72.1	23,908	29.0
沖縄総合事務局	852	505	59.2	77	9.1	37,800	33,006	87.3	21,446	56.7
沖縄県	852	505	59.2	77	9.1	37,800	33,006	87.3	21,446	56.7
総計	2,458,000	1,567,527	63.8	229,438	9.3	2,060,000	1,553,186	75.4	460,610	22.4

資料：農林水産省統計部「耕地及び作付面積統計」、農林水産省農村振興局「農業基盤情報基礎調査」

注1）田及び畑の面積は「耕地及び作付面積統計」による平成26年7月15日時点の値。

注2）各整備済面積は「農業基盤情報基礎調査」による平成26年3月31日時点の推計値。

注3）末端農道整備済とは、畑に幅員3m以上の農道が接している状態をいう。

注4）掲載している数値については、四捨五入を行っているため、合計と内訳の積み上げが一致しない場合がある。



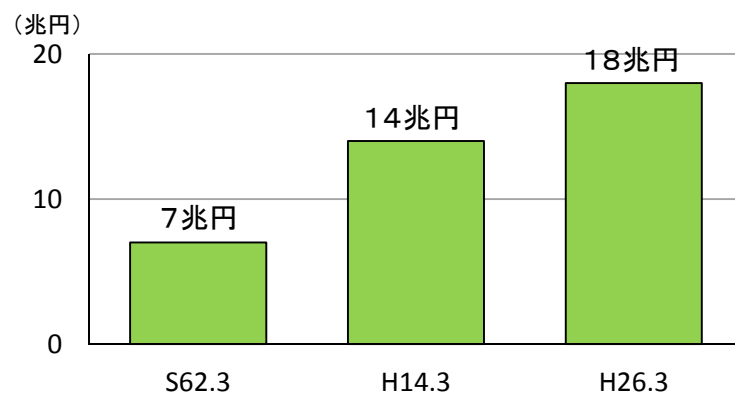
### 3. 基幹的農業水利施設の整備状況

- 全国の基幹的農業水利施設は、ダムや取水堰等の点的な基幹的施設が7千箇所、基幹的水路が5万km整備されており、その資産価値は18兆円に達している状況。
- それら基幹的農業水利施設の多くでは老朽化が進行しており、用排水機場で7割、水路で4割が耐用年数を超過している状況。

#### ➤ 農業水利ストックの整備状況

農業用排水路	約40万km以上 (地球約10周分)
うち基幹的水路	約5万km
ダム、取水堰、用排水機場等	約7千箇所

#### ➤ 基幹的農業水利施設の資産価値



注1) 再建設費ベースによる評価算定。

注2) 基幹的水利施設は、受益面積100ha以上の農業水利施設。

#### ➤ 標準耐用年数超過状況

基幹的農業水利施設 施設区分	施設数・ 延長	うち耐用 年数超過	割合	参考 (H25.3)	
				施設数・ 延長	うち耐用 年数超過
基幹的施設(箇所)	7,425	3,578	48%	7,469	3,509
貯水池	1,269	119	9%	1,280	119
取水堰	1,952	576	30%	1,963	545
用排水機場	2,883	2,030	70%	2,904	2,015
水門等	1,069	681	64%	1,072	658
管理設備	252	172	68%	250	172
基幹的水路(km)	50,160	17,634	35%	50,311	16,821

資料: 農業基盤情報基礎調査(H26.3時点)を用いて試算

注1) 「基幹的農業水利施設」とは、農業用排水のための利用に供される施設であって、その受益面積が100ha以上のもの。

注2) 試算に用いた各施設の標準耐用年数は、「土地改良事業の費用対効果分析に必要な諸係数について」による標準耐用年数を利用しており、概ね以下のとおり。

貯水池: 80年、頭首工: 50年、水門: 30年、機場: 20年、水路: 40年 など

# 都道府県別の基幹的農業水利施設数・水路延長(平成26年)

局及び 都道府県名	貯水池 (箇所)	頭首工 (箇所)	水門等 (箇所)	管理設備 (箇所)	機場 (箇所)	水路 (km)	集水渠 (km)	合 計		局及び 都道府県名	貯水池 (箇所)	頭首工 (箇所)	水門等 (箇所)	管理設備 (箇所)	機場 (箇所)	水路 (km)	集水渠 (km)	合 計				
								点施設※1 (箇所)	線施設※2 (km)									点施設※1 (箇所)	線施設※2 (km)			
北海道	110	214	30	4	266	12,066		624	12,066	近畿	滋賀県	14	27	9	12	45	782	1	107	783		
東北	青森県	36	82	9	5	90	1,298	222	1,298		京都府	5	14	9	1	13	153	0	42	153		
	岩手県	36	58	11	5	46	1,352	156	1,352		大阪府	6	4	2	0	3	110		15	110		
	宮城県	45	60	41	3	181	1,688	330	1,688		兵庫県	35	43	11	7	17	645	1	113	646		
	秋田県	77	95	42	3	67	1,495	1	284		1,496	奈良県	10	12	4	0	10	263		36	263	
	山形県	49	79	28	18	144	1,744	0	318		1,744	和歌山県	6	11	0	0	26	338		43	338	
	福島県	52	127	17	19	49	1,175		264		1,175	小計	76	111	35	20	114	2,291	2	356	2,293	
	小計	295	501	148	53	577	8,752	1	1,574		8,753	中国 四国	鳥取県	15	33	6	2	12	314	3	68	317
関東	茨城県	10	36	69	5	171	1,450	0	291	1,450	島根県		9	7	15	3	38	281		72	281	
	栃木県	17	81	3	3	26	1,133	13	130	1,146	岡山県		46	32	18	10	78	884		184	884	
	群馬県	20	59	19	1	23	752	0	122	752	広島県		25	6	4	0	15	121	1	50	122	
	埼玉県	8	45	48	9	60	1,398		170	1,398	山口県		16	14	5	0	17	130		52	130	
	千葉県	29	25	112	9	242	1,577		417	1,577	徳島県		5	8	35	3	35	345	2	86	347	
	東京都	0	2	0	0	0	25		2	25	香川県		79	24	2	0	18	436		123	436	
	神奈川県	0	5	4	0	0	115		9	115	愛媛県		36	24	7	5	29	671	0	101	671	
	山梨県	7	9	8	1	17	188	15	42	203	高知県		6	10	3	1	7	143		27	143	
	長野県	44	98	40	12	32	2,066		226	2,066	小計		237	158	95	24	249	3,325	7	763	3,332	
	静岡県	20	24	50	2	50	1,153	0	146	1,153	九州		福岡県	57	88	28	7	37	683		217	683
	小計	155	384	353	42	621	9,857	29	1,555	9,885			佐賀県	47	22	13	2	53	531	1	137	532
	北陸	新潟県	41	89	137	36	301	2,738		604		2,738	長崎県	23	4	7	4	28	153		66	153
富山県		15	34	9	5	9	1,166	1	72	1,167		熊本県	19	57	66	3	100	841		245	841	
石川県		18	19	10	1	54	471		102	471		大分県	26	46	11	11	16	608	10	110	618	
福井県		4	25	8	4	45	689	10	86	699		宮崎県	10	48	35	10	17	658	0	120	658	
小計		78	167	164	46	409	5,064	11	864	5,075		鹿児島県	27	46	15	8	51	904		147	904	
東海	岐阜県	23	31	21	2	74	845	1	151	845	小計	209	311	175	45	302	4,377	11	1,042	4,388		
	愛知県	35	17	26	9	188	2,488		275	2,488	沖縄県	21	3	0	7	20	287		51	287		
	三重県	30	55	22	0	63	746	0	170	746	全 国	1,269	1,952	1,069	252	2,883	50,099	61	7,425	50,160		
	小計	88	103	69	11	325	4,080	1	596	4,080												

資料:「農業基盤情報基礎調査」

注1) 基幹的農業水利施設とは、農業用排水のための利用に供される施設であって、その受益面積が100ha以上のものである。

注2) 調査結果は平成26年3月31日時点の推計値であり、平成15年以降に農業農村整備事業以外で新設・廃止された施設については考慮していない。

注3) ※1 点施設とは、貯水池、頭首工、水門等、管理設備、用排水機場。※2 線施設とは、水路、集水渠のことである。